

取り戻そう美しい三河湾 7/28 ~ 8/3 は三河湾浄化週間

三河湾には、かつて広大な干潟や浅場があり、多くの生物と人々が集う親しみやすい空間でした。ところが、近年は赤潮や苦潮が発生し、生物が棲みにくい場所になっています。

その原因として、生活排水の流入により水が汚れたり、干潟や浅場が減って底で生活していた生物が減ったりしたために、水質を浄化する能力が小さくなったことがあげられます。そこで現在、中山水道航路をしゅんせつした砂により、三河湾の各地に人工の干潟や浅場を造り、海の自浄作用を取り戻そうとする取り組みが行われています。田原市でも昨年、白谷地区に人工干潟が完成しました。



さまざまな海の恵み与えてくれる三河湾

美しい三河湾を取り戻すために

しかし、海岸に流れ着く大量のごみ、海底に沈むごみやヘドロを見ると、私たち一人ひとりが、日常生活において汚い水やごみを捨てないように心がけていかなければならないと痛感します。

例えば、家庭から出る生活排水。私たちが普段の洗濯に使っている合成洗剤の主なものは、汚れを落としやすくするためにLAS（直鎖アルキルベンシルホン酸ナトリウム）という界面活性剤が使用されています。この界面活性剤は健康への害が心配されており、大箱タイプのものより現在のコンパクトタイプの方が増えているといわれていることから、適量の使用を心がける必要があります。

三河湾に面する市町村で三河湾浄化推進協議会を設置し、海の浄化対策を推進しています。私たちの美しい三河湾を取り戻すため、市民の皆さんのご協力をお願いします。



昨年開催された人工干潟の完成記念イベント

環境課 ☎ 23局3541

ナタネ油用の菜種を収穫 搾った油を燃料として使用します

6月4日（金）、田原市が推進している「菜の花エコプロジェクト」の一環として、ナタネ油用菜種の収穫を谷熊町地内のほ場で行いました。収穫には、菜の花エコ推進協議会委員・農業委員会委員・プロジェクト賛同者などが参加し、コンバインで刈り取ったあと、種子を選別して袋詰めしました。菜種は「キザキノナタネ」という品種で、昨年の10月にまいたもの。収穫した約500kgの菜種から、7月に約150kg分の油を搾り、市の公用車の燃料として使用する予定です。

菜の花ボランティア募集中！

「菜の花エコプロジェクト」にご協力いただける団体または個人を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

農政課 ☎ 23局3519



コンバインで刈り取った菜種をふるいにかけています